

(仮称)稲城市立中央図書館等整備運営事業



<設計・建設>

1. 街に顔を向けた配置計画

- 周辺環境に配慮した最適な配置計画
～両施設を平地、同一レベルに建設

2. 複合施設の魅力の重視

- 体験型複合施設の実現
～すべての利用者ゾーンを同一フロアで確保
- 両施設の連携を促す施設計画
～同一レベルの外部空間を取り込んだ一体利用

3. ユニバーサル・デザイン

- 昇降設備に依らないパーフェクト・バリアフリーの実現
- シンプル・プラン

4. 滞在型図書館

- ゆとりの創出
～利用者ゾーンを同一フロアで計画し、120㎡確保

5. 長期的な視点にたった施設計画

- 高いフレキシビリティ

6. 最新の書架システムの導入

(仮称)稲城市立中央図書館等整備運営事業



<図書館運営>

1. 利用者サービスの充実

- 豊富な図書館資料
- インターネット環境の提供、喫茶室の設置
- 運営スタッフは皆「ライブラリー・コンシェルジュ」
- 「ユニバーサル/サービス」の実現

2. 確実に迅速な資料の配架

- 新刊見計らい、店頭選書、図書館での直接装備

3. 開館日数の増加

- 年間開館日数345日の実現へ
- 棚アンテナシステム(一部)の採用

4. 24時間アクセス可能なサービス

- インターネットや携帯電話での図書館サービス利用
- 24時間対応の貸出ロッカー・返却ポストの設置

5. カウンター待ち時間の短縮

- 自動貸出機の導入
- 自動書架システム

6. 市民参加型サービスの実現

- 市民参加型サービスの開催
- 地域ボランティアへの活動の場の提供

7. 確実な個人情報保護の実践